

賀正

飛翔の年に！

中村施設長の 年中夢求



「飛躍の年に」～人有りき～

新年あけましておめでとうございます。

今年は酉年です。この酉は「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われてきました。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされています。

一昨年の駒場苑は人の入れ替えが多く、落ち着かない年でした。しかし昨年4月から12月までの統計では特養介護士の採用者が7名に対して退職者はゼロです。このやる気のある新人職員をしっかり育てていきたいと思っています。昨年は駒場苑として本来やるべき事業が人員不足で一部停滞してしまい、非常に辛いものがありました。今年は事業の復活や新しい取り組みを進めていきたいと思っています。例えば外出支援や看取りの充実、各種研修参加、勉強会企やイベント企画等です。又人が充実することで超勤の削減や休み取得の向上など福利厚生も充実し定着率の向上とサービス向上が一体となることが予想されます。他にも取り組むべき事柄は多数ございますが、それはこれからのお楽しみとさせていただきます。

ここではっきりしているのは、「人有りき」ということです。

福祉、介護はどんなに機械化が進もうと、世の中が変わろうと、人の手の温もりによって行われるものなんですね。

駒場苑には人財という実があります。未だ青い実もあります。しかし彼らをしっかり成長させることで駒場苑全体が成熟し結果ご利用者の生活レベルが上がっていくこととなります。

今年が駒場苑にとって飛躍の年になるよう、努力してまいります。

坂野補佐のはつらつ通信



新年明けましておめでとうございます。

この『みちくさ』ではじめは特養主任として最近では補佐として私自身の介護観や特養駒場苑のケア改革の進捗状況、7ゼロについて等書かせて頂いて来ました。しかし私自身、現在は駒場苑グループの補佐としての立場で特養だけでなく全事業に少しずつですが関わる事になってきています。それなのに元特養主任だからという事でいつまでも特養駒場苑の介護を私がここで語り続けるのは良くないな、と思っていました。

まだ特養の窓口は坂野、7ゼロの坂野、というイメージがあるのは分かっていますが、だからこそいつかこの役割を渡さないといけない。その手始めとして、次回からこのコーナーは特養の介護主任3人へ代替わりをします！という表明を新年の挨拶にしようと思立ちました。今の特養の介護のトップは彼らです。これからは彼らが自分達の言葉で7ゼロや介護、それぞれの想いを熱く語り、発信をしていてもらいたい、と思います。

この『みちくさ』で記事を書く事は、私にとってその時々その節目の役割を果たしてくれたりもしました。寂しい気持ちもありますが、駒場苑のさらなる成長には必要なステップです。次回からの彼ら3人の記事をお楽しみに！今まで私の記事を読んで下さりありがとうございました！なんだか辞めるみたいな記事になってしまいましたが、そういう事ではないので、ご心配なく(笑)。今年はいろんな意味で「世代交代」をテーマにがんばっていきますので、今後ともよろしく願い致します！

ボランティアさんインタビュー



◆駒場苑にいらっしゃるきっかけは？

以前、坂野さんと一緒に働いていたご縁で。

◆介護職員だったんですか？

50歳までは普通の会社員でしたが、母が認知症になりその介護のために早期退職したんです。当時(20年前)は介護保険制度もなく、入居できる施設も少なかったので家族で何とかするしかありませんでした。しばらくは自宅で介護していましたが、認知症は急速に進行し、徘徊・妄想・異食などひとときも目が離せない状態になり有料老人ホームに入居しました。

その後、デイサービスでのボランティアをきっかけに職員として働くようになりました。デイサービスで7年間働いた後、特養に転職。そこで坂野さんと出会ったんです。

今はもう退職してボランティア活動等をしています。

ハーモニカのボランティア 黒岩芳雄さん



◆駒場苑でのボランティアの感想は？

居心地がいいですね。生活の場にさりげなく溶け込んでハーモニカを吹く。何人かの利用者さんがなんとなく回りを囲んで一緒に歌ったり、笑顔で聴いてくれる。大袈裟に構えることの無いさりげなさがいいですね。

◆ボランティアをやっていて嬉しいことは？

何と言っても笑顔です。最初は興味がなさそうだったり、元気がなさそうなお年寄りがハーモニカの音色でいつの間にか表情がやわらかくなって楽しんでくれている、それが一番うれしいですね。それと僕の顔を覚えてくれて、楽しみにしてくれている方がいることも励みになります。毎週水曜日に何うのが楽しみです。

お母様の介護で人生が一変してしまったけど今考えると会社員だけの人生ではわからなかったことを沢山得ることが出来て良かったと思う、と優しい笑顔で語ってくださった黒岩さん。そのお人柄とハーモニカの音色にいつも癒やされています。ありがとうございます。(橘)

みちくさ



高橋相談員の ほのぼの日記



皆さん、明けましておめでとうございます。
 新しい年が始まりました。今年はどうのような年になるでしょうか。
 昨年4月から相談員となり、しばらくは目の前の事を行うことだけで精一杯でしたが、最近は相談員として何ができるか、日々考える毎日です。そのような中、各フロアーに行つてそれぞれの様子を知る機会が多くなり、「相談員として何ができるか」のヒントになりそうな事も多く、興味深いです。
 3階は風船バレーなどのレクレーションをやったり、2階でのクラブ活動に参加する方が多いように感じます。
 4階はいつも音楽が流れていて、そしてフロアー全体が様々な装飾で飾られています。
 5階は天気の良い日に日当たり抜群のベランダで日光浴をしたり、お茶をしています。

長い間、職員不足の時期が続きましたが、そのような中でも各フロアーそれぞれにご利用者に楽しんでいただけるような工夫をしていました。駒場苑の7ゼロはもちろん今年も継続して行つていきます。7ゼロの中の「オムツゼロ」や「下剤ゼロ」などはフロアーの職員が中心になって行いますので、実行できるように各部署やご家族と調整してご利用者と職員を支えることが相談員の役割だと思っています。
 そんな中、相談員も主になってできることは「寝かせきりゼロ」ではないかと考えています。
 ここ1, 2年、ご利用者の外出の機会がだいぶ少なくなってしまいましたので、外出の機会を作りたいと思いますし、駒場苑の中でできるお楽しみの時間も作りたいと思っています。
 酉年の2017年、ひよこの相談員から少しでも羽ばたくことができる相談員になりたいと思っています。
 今年もどうぞよろしくお願ひ致します。



クイズ

介護百人一首

上の句と下の句とイラストを正しく結んでみてね。 答えは駒場苑ホームページを御覧ください。

駒場苑では介護のコンセプトを 100 首の短歌にして共有しています



- | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
| 移乗時は
移乗前後の位置調整 | 車椅子
高さ調整で足が着き | 立ち上がり
介助する時コツがある | 起き上がり
寝返りし後足下ろし | 声をかけ
分かって動くにや時間いる | お部屋にね
私物を何でも持って来て | かけ湯はね
自分の手足で温度見て | 笑顔でね
そろそろ出るか聞くけれど | 口の中
まだ入ってるのにもう一口 | ウトウトと
寝ながら食事つらいだけ |
| 時計を見つつ
聞いてないかい | 待たずに触れる
そりゃチカン | 床に足つけ
足引き前屈 | 高さはどちらも
同じ設定 | 起きたら食べる
今は寝かせて | 焦るなペース
飲み込み確認 | その後利用者
手足で確認 | 肘立て介助で
楽に起きれる | アームとフット
外れるタイプに | 私物に囲まれ
落ち着く心 |

